

築瀬小だより



やなぜ

令和5年7月 第4号 発行責任者 新村 幸江

やなぜ魂

ともに進む
〈共感・共汗・共歓〉
たくましく
あかるく
あたたかく

朝からの気温上昇に外での活動、さらにはプール使用も制限する日々が続いています。子供たちにとって楽しさ半減の状態ですが、夏休みを励みにここまで本当によく頑張ってきました。今月に実施しましたヤナゼフェスティバル・授業参観・音楽集会等では、互いに共感・共汗・共歓し合い、子供たちのやる気・活気あふれる活躍が随所に見られました。いよいよ21日からは待ちに待った夏休みです。地域行事の復活も聞こえる中で、今年は外出する機会も増えてくると予想します。熱中症対策はもちろん、夏ならではの催しを楽しみ、夏休みバージョン共感・共汗・共歓を存分に味わってほしいと願います。また、興味があることにたっぷり時間をかけるなど自分をぐんぐん伸ばす挑戦の夏にすることも勧めます。一回り大きく成長した姿で、8月30日に会うことを楽しみにしています。長期休業中、保護者の皆様、地域の皆様には大変お世話になります。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

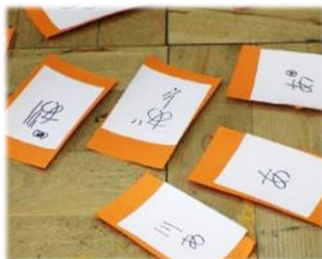


暑さに負けません。笑顔で元気に
「朝のあいさつ運動！」

◆発想豊かに おもしろさあふれる ヤナゼフェスティバル

子供たちの発想により創り上げられた様々なアトラクション。大人でも挑戦したくなる魅力がたくさん詰まっています。中でも感心させられたものは高学年対象「『あ』のカルタ取り」です。「あ」にオリジナルマークを付けて読み手が読み方を工夫していきます。耳を澄ませば読み手の「あ」は確かに違って聞こえ、聞き手はどのような「あ」を表しているのか想像して取っていきます。子供の発想豊かな「カルタ取り」には参りました。

一方で、「蜘蛛の巣ネット」アトラクション発案者に聞いてみると、「昔、あれは3年生の頃だったかな」と。そのときにやった、おもしろかったものを思い出し、さらに5年生の冒険活動教室でやったネイチャーゲームを思い出し、鈴を付け合わせて完成させたようです。「バランス良くひもをつないでいくことが難しかったけれど、みんなが賛成してくれ、みんなで創って、みんなに喜ばれたことがとても嬉しい」と、6年生。しかし最後にはこんな一言がありました。「こんなに大変なことを今までの6年生はさらにやり遂げていたことが凄すぎる!」と。



◆オープンスクールとしての授業参観

～お家の方の存在は、「大」～

時間制限なく自由に参観いただこうと、「オープンスクール授業参観」の名称でご案内をさせていただきました。当日は猛暑の参観となりましたが、子供たちにとって頑張るのは「当たり前!」といった、いつも以上のやる気を見せていました。学級懇談会では、久しぶりに保護者同士で語り合う時間を設定し、関心事などを共有させていただきました。次第に話が弾んで皆様の表情が和やかに、時に大きくうなずいたり、時に笑いや驚きが起きたりと、輪の広がりが感じられました。保護者の皆様、お暑い中にご出席いただきましてありがとうございました。



◆フロの教えに感動！ ～3年生 リコーダー講習～

3年生は、授業参観の折に、リコーダー講習を受けました。いろいろな種類のリコーダー紹介や知っている曲の演奏と、子供たちは講師の先生の一言一言、奏でる音色に釘付けの1時間でした。やはり、プロとの出会いは強烈な印象を残すことができ、「また来てほしい!」そんな声が聞かれるほどでした。



さすが子供たちと思った点は、言葉の吸収力です。おまじないの言葉「とっとり、ととろ、ととろ、たらこ」をはじめ、リコーダーの名称「クライネソプラニーノリコーダー」「ソプラニーノリコーダー」「ソプラノリコーダー」「アルトリコーダー」「テナーリコーダー」「バスリコーダー」をその場で覚えきっていることでした。また、子供たちは、今度の音楽の時間に息の強さ、姿勢、持ち方を工夫して演奏しよう、難しい曲も演奏できるようになりたいと、練習意欲を高めていました。

◆音楽の力を感じて ～2・5年生による第1回音楽集会～



5年生



音楽を通して感じる心を耕し、共感・共歓し合いたい。そんな思いで今年は発表形態を変え、さらにその姿を参観いただくこととしました。これまでの3年間、音を奏でる楽器の扱いに制限があり、メロディの美しさなどを感じる機会が失われていました。「お家の人にがんばってきたことを伝えたい」「喜んでほしい」子供たちは素直な願いをもって当日に挑みました。学年らしさがあふれる素晴らしい発表となりました。仲間の良さに気付く、息を合わせる大切さに気付く機会にもなりました。



2年生



◆届けよう。服のチカラプロジェクト ～ユニクロ・GUと環境委員会～

本校児童・保護者の声がきっかけで、この日の運びとなりました。関係担当者が来校され、環境委員会の子供たちを対象に「届けよう、服のチカラプロジェクト」の講話をいただきました。話を聞いてみた子供たちの声です。

- ・自分たちがいろいろな服を着ることができるのは当たり前ではないなと思いました。
- ・自分たちができることをやっていきたいと実感できました。
- ・服は暑さや寒さから身を守ることやペットボトルから作られていることを知り面白かったです。
- ・私は着られなくなった服を人形の服に変えることで洋服を大切にしたいと思います。
- ・服のチカラは、命・気分を変える気持ち・話を生むつながらと教えていただき、服にそんな力があったのかと思いました。



◆スマホ・ケータイトラブル防止出前講座 ～6年生の新たな学び～



「インターネットの仕組みを知ろう」「便利なチャットの苦手なところを知ろう」このめあての下、6年生が出前講座を受けました。インターネットの使用は全員が経験済みであっても、今回新たに知り得たこともあり、子供たちの中にはドキッとすることがあったかもしれません。インターネットを使用すれば「途中に必ず記録が残る」「一度公開すると、全ては取り消せない。」「気持ちが伝わりにくい」といった点が強調されました。「みなさんから、お家の人にも説明しましょう」の補足もありましたが、保護者の皆様、いかがでしょう。お子さんとのルール確認は必須に、お願いします。